



# Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題 「ともに光の中を歩もう」  
 アジア会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」  
 西日本区理事主題 2022 年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」  
 中部部長主題 「愛し合い、助け合い、心はいつも青春」  
 クラブ会長主題 「クラブの定期点検」～活動しやすいクラブでメンバーの心身も健やかに～

がんばれ日本 がんばるワイズ

2018 年 5 月号

—＜今月の聖句＞—

「あなたがたの光を人々の前に輝かしなさい。人々があなたがたの立派な行いを見て、あなたがたの天の父をあがめるようになるためである」  
 マタイによる福音書 第 5 章 16 節

クラブホームページ : <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2017-2018.pdf>

## 2018 年 5 月例会他ご案内

### ◎ 5 月通常例会

と き : 5 月 15 日 (火)  
 時 間 : 19:00～  
 ところ : 名古屋 YMCA (池下)

### ◎ 日和田リーダートレーニングキャンプ

と き : 5 月 3 日 (木)～4 日 (金)  
 ところ : 御岳日和田キャンプ場  
 時 間 : 現地 11 時頃集合  
 3 日・4 日の日中はキャンプ場内でワークを行いますので、作業のできる服装で参加願います。また、リーダーとの懇親会食材は分担して運搬しますのでご協力願います。なお、現地は朝晩の外気温が低いので、服装は秋冬装備をお願いします。

### ◎ 中部 EMC シンポジウム・評議会

と き : 5 月 19 日 (土)  
 時 間 : シンポジウム 11:00～  
 中部評議会 13:30～  
 ところ : 名古屋 YMCA (池下)  
 シンポジウムは新生ワイズ起し運動の中部でのキックオフとなります。2022 年に向けての進め方について話し合います。

### ◎ 西日本区大会

と き : 6 月 9 日 (土)～10 日 (日)  
 ところ : ANA クラウンプラザホテル神戸

### ◎ グランパス一泊例会

と き : 6 月 30 日 (土)～7 月 1 日 (日)  
 ところ : 奥びわこを望む宿「つづらお」  
 詳細は別途案内します。

| 4<br>月<br>例<br>会 | 例 会 出 席 状 況 |      |         |      | B F ポイント  |  | クラブファンド (月) |  |
|------------------|-------------|------|---------|------|-----------|--|-------------|--|
|                  | 在 席 者       | 14 名 | 第 1 例 会 | 11 名 | 当 月 ・ 切 手 |  | ニコ BOX ノート  |  |
|                  | 例会出席者       | 11 名 | 第 2 例 会 | **名  | 当 月 ・ 現 金 |  | 感 謝 ファンド    |  |
|                  | 当月出席率       | 79 % | そ の 他   | 9 名  | 累 計       |  | 累 計         |  |

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持とう。義務はすべての権利に伴う＝

## 4 月通常例会



と き：2018年4月17日（火）

ところ：名古屋YMCA（池下）

出席者：下村、荒川、遠藤、早川、三井、服部、  
坂野、高田、阿部

ゲスト：山内ミハル部長、伊藤仁信会計、数澤輝夫  
事務局長、数澤淑子メネット主査

欠席者：青木（休会中）、吉田、松原、坂口、信田

### 中部部長公式訪問

下村 明子

4月17日、18時半より名古屋YMCAにて開催された4月例会。山内ミハル中部部長、伊藤仁信中部会計、数澤輝夫中部事務局長、数澤淑子中部メネット主査の4名がはるばる金沢よりお越しくださいました。ちょうど例会の数日前が「東北被災地応援ツアー」という日程、資料を整理した上での報告会は時間的に難しいけれど、せめて写真だけでもいいからと、荒川メンに無理をお願いし、ツアーで撮影した写真を振り返りながら、現地の状況や出会った人達についての報告がなされました。ツアーの内容については別で報告があるため割愛しますが、わがクラブが力を注いでいる活動を中部役員の方々にご報告ができ、良い機会となりました。翌日の予定があり夜遅くに金沢へ戻られましたが、ゆっくり食事をしながら感想を伺えなかったことが残念で、それはまたの楽しみにしたいと思います。この度はお越しいただきありがとうございました。今度は私の第二の故郷、金沢でおいしいお酒を飲みたいですね！



### 1. 開会点鐘

### 2. ワイズソング斉唱

### 3. ゲスト紹介

中部部長山内ワイズ・中部会計伊藤ワイズ・中部事務局数沢ワイズ・中部メネット主査数沢メネット  
柴田勝吉

### 4. 食前感謝 山内中部部長

### 5. 食事

### 6. 議 事

#### (1) 中部部長公式訪問

##### ① 中部より報告・連絡事項など

5月19日中部EMCシンポジウム

場所 名古屋YMCA

AM 11:00～EMCシンポジウム

PM 1:15～評議会

富山クラブの新設の報告 2018年2月打ち合わせ等 今後の経過を見守る。

#### (2) プログラム報告

##### ① 南山クラブ合同例会（卓話：4月3日）

報告者：早川

名古屋YMCA日本語学院にて

4月3日グランパス・南山両クラブ合同例会

名古屋YMCA日本語学院の紹介並びに施設案内

卓話 惟任講師

愛知県内日本語学校の現状・学院への新入生  
状況・将来の抱負等

現在在籍数 17名 県内の企業からの要望  
も多く期待をしている。学生はアジアからの  
出身者が多い。

##### ② 東北震災支援ツアー（4月14日～15日）

報告者：荒川

参加者：鳥取クラブ（早川）、東陵クラブ（大  
槻夫妻・川島夫妻）、名古屋クラブ（川本・渡  
辺）、ゲスト（柴田）、グランパス（荒川夫妻・  
高田夫妻・松原夫妻・早川・吉田夫妻）

東京電力原子力発電所の現状・地域住民の方の  
卓話・町の様子等 写真で説明があった。中身  
の濃い2日間でした。

#### (3) 各委員会情報共有

##### ① 名古屋地区ワイズ連絡会

委員名：服部（事務局）、荒川（中部情報委員）、  
下村会長

・グランパスクラブは将来構想特別委員を2名選  
出（本日決定）次年度副会長の三井ワイズに御  
願いし決定。

##### ② ワイズ将来構想特別委員会（西日本区）

委員名：荒川

##### ③ その他委員会

日和田委員会：日和田キャンプ場の整備 三  
井・中井・藤谷3名が4月27日に点検・整備

委員長：吉田ワイ

渡辺ワイズ（名古屋クラブ）

#### (4) YMCAより

##### ①5月3日～4日 リーダートレーニング支援について

三井ワイズより5月3日は午前中から設備の点検整備を行いたいと要望がありました。

リーダー研修の夕食の差し入れは例年どおり。

参加者 荒川・三井・信田・早川 多くの参加者を募集。

#### (5) その他

##### ①三井ワイズ竹細工新作発表とファンドへの活用について

竹製のスピーカー・ワインボトルホルダーを制作。今年の仲田夏祭りのファンド集め提案

##### ②リーフレット作成例会について

5月15日 役員会にて 打ち合わせ

#### 4. 今後の予定（5月末まで）

4月30日（月・祝）春の根の上まつり（根の上キャンプ場）

5月3日（木）～5日（土）リーダートレーニング（日和田キャンプ場）

5月15日（火）通常例会 クラブリーフレット作成打ち合わせ（名古屋 YMCA）

5月19日（土）EMCシンポジウム・中部評議会（名古屋 YMCA）

### 4月特別例会



と き：4月 3日（火）

ところ：名古屋YMCA日本語学院

〒451-0062 名古屋市西区花の木 1 丁目 1-18

出席者：下村、荒川、遠藤、坂野、三井、高田、服部、阿部、松原+メネット、吉田、早川  
YMCA（万福寺、東田）

#### 名古屋 YMCA 日本語学院見学

三井 秀和

現在、YMCA が運営する日本語学校の 2017 年度の在學生は 全国で 2593 名となり、44 の国と地域からの留學生が YMCA で学んでいます。日本特に愛知県での留學生人口の増加とともに期待されていた今年 4 月開校した名古屋 YMCA 日本語学院の見学をしました。

名古屋 YMCA 日本語学院の担当スタッフの惟任将彦氏より愛知県は東南アジアを主として若い世代の転入が全国 1 位で今後も続いて増加する見込みとそれに伴い日本語習得のための留學生を対象として YMCA として日本語学校開校の必要性の説明を受けました。



遠藤さんのインド紀行講演

建物は 6 階建てのビルで内部は新しくまた屋上より南側には名古屋駅周辺の高層ビル群と東側は名古屋城が望め地下鉄駅も近くロケーションとしては非常にいい場所にあります。



4 月に開校したばかりで現在の在學生は 20 名弱ですが最大 100 名の生徒に対応できるとのこと。で今後は多様な体験・学びを通して、幅広いカリキュラムを実践し、充実した学生生活を提供できる教育機関となることを目指しているとのこと。



また、ボランティアチューター活動についても説明がありその内容は週 1 回学校で会い、1 時間程度日本語で会話をして日本での生活のこと、将来のこと、家族のこと、自分たちの国や文化のことなど、会話の内容は自由で日本の文化を伝えるだけでなく、活動を通して互いの国や文化を知り、留學生との交流するボランティア活動

でもありクラブ内ではすでに松原君が登録しています。





## 東日本大震災被災地復興応援ツアー



と き：2018年4月14日（日）～15日（日）

ところ：福島県いわき市からR6を北上

参加者：（敬称略）

グランパス：荒川＋メネ、高田＋メネ、松原＋メネ、  
早川、吉田＋メネ ゲスト：柴田

名古屋：渡辺真悟、川本龍資

京都東稜：大槻裕樹、洋子、川島英雄、八千代  
鳥取：早川 悟

仙台広域：清水弘一

仙台青葉城：加藤重雄、真子

仙台広瀬川：村井伸夫



福島第二原発を近くに見る

### 東北被災地応援ツアー

高田士嗣

今回の被災地訪問は当初予定の船に乗って原発見学が中止になり、急きょ旅程を組んでいただいた加藤ご夫妻はじめサポートしていただいた仙台の皆様感謝いたします。

二日間で川上牧師さんはじめそれぞれの立場でいろいろな活動をされている6名の皆さんのお話を聞く事が出来て充実した旅でした。

原発の原告団の方たちのお話では今もなお厳しい状況がわかり、また原発事故の影響での住民の暮らし方やこれからの故郷の在り方を考え行動している方々の話はこのような状況でも人に寄り添う優しさや力強さを感じました。

前回お会いした皆さんの気持ちの変化も感じ少しず

つ前に進んでいるのを実感しました。

いわきから北上しながら南相馬までの道中では、除染土壌の仮置き場が点在し、未だに帰宅困難区域の状況は前回訪れた時と変わらず本当の復興までには果てしない時間を必要とする事がわかり、福島では汚染のために戻れないという根本的な問題を感じます。



無造作に置かれた放射能汚染土

津波被害地域では新しい建物ができ、目に見える形で復興が進んでいるように感じますが、人が戻ってこそその復興なのに避難指示が解除された檜葉、富岡、浪江でやっと1割くらいの帰還者（高齢者）です。避難地で新しい生活を始め、故郷に戻らない、戻れない人も多く過疎化が問題になっています。

除染土壌の仮置き場は想像を絶するものでショックでした。フレコンは破れ雨水は流れ出し施しようのない状態です。将来何処かの地区が受け入れてくれば「仮置き場」ですが現状では「永久保管場所」になりそうです。

色々な情報が有りますが（政府は福島原発は収束・東京オリンピック開催）何が真実で何がフェイクかを知り情報を発信したいと思いました。

今後もこの企画を続けていこうと思います。



福島第二原発をバックに（見えない）記念撮影

2018年4月

東北被災地応援ツアー寄り道旅行記

吉田一誠

国営日立海浜公園や足利フラワーパーク、はご存知でしょうか？

国立ひたち海浜公園はネモフィラの花の咲く丘





が、インスタ映え’するということで最近とみに有名のようですが、行って見てネモフィラの丘（写真1）の今まで見たことのないスケールの大きな景色には圧倒されました。見事の咲きそろった水仙やチューリップのも素晴らしいものでした。（写真2、3）

足利フラワーパークはCNN ニュースが選んだ世界で行ってみたいところ10か所の中に2014年選ばれたことをFace Bookで見に行ってみたいと思っていましたが、その大藤は写真に増しての大迫力、しかも広い園内に大藤の棚が何か所もありその周りには季節の花の咲く樹木、シャクナゲ、つつじ、クレマチス、ハナミズキなども



も観ることができました。枯れたものは何も見かけませんでした。丹精を込めていれをされているのだろうと思い感銘を受けました。（写真4、5）

今年の被災地ツアーはいわき市で泊まることになっていましたので、名古屋から車で出かけたのですが、今年は幸い花の季節が1週間以上早かったために、道中では目に染みる新緑の中に咲き誇る枝垂れ桜や八重桜、山つつじ、芝桜、などを見ながら、あちこちに寄り道、のんびりドライブを堪能できました。健康な暇人として過ごさせていただけることに感謝！！



いずれも名古屋からわざわざ出かけるには少し遠いのであまりこちらではなじみがありませんが、旅行会社からは名古屋から2泊3日でこの2か所を回るバス

ツアーも出ています。ぜひお出かけください。

被災地応援ツアーについては参加された皆さんが書かれていると思いますが、私は今回参加してツアーの空気が変わったことを感じました。スタート当初は津波の被災地のあまりにも想像を絶する被害を受けられた現場に行き想いを新たにしましたが、年々見かけの復興が進むにつれて、ツアーをいつま

で続けるべきなのか？というようなことを考える空気も出てきました。

昨年から津波被害だけではなく、福島原発事故被害地の訪問、避難された方の話を聞くことで、原発



事故の酷さを再認識することができましたが、あまりにも問題が深刻であることに、私たちに応援、支援ができるのだろうかと思慮する空気もあつ

たのが正直なところであったと思います。

そのような中で今回お話してくださった福島原発事故被災者訴訟の原告団の方がおっしゃった’とにかく忘れないでほしい’という言葉に胸を撃たれました。終戦後の混乱の中で起きた松川事件も十数年の年月を経て冤罪であったことが確定したこと、水俣病ほかの公害訴訟も数十年の時を経て公害と認知さ



れたこと、これらはすべて世論の変化が正義を貫くことを後押しした結果であることを考えると、福島原発事故の被害の

深刻さを忘れないような動きを継続し続けることが重要であり、それにはぜひ多くの方が現地に来て現場を見て起きていることを知ってほしいという趣旨のお話でした。

来年は7月にワイズアジア大会が仙台で開かれるようです、被災地応援ツアーも企画されているようですので、私たちのツアーも同じ時期にということになるかもしれませんが、とにかく何らかの形で継続していくことの必要性をみんなが共有できたツアーであったと思います。健康である限り私も参加したいと思います。

## 被災地復興応援ツアーレポート

荒川恭次

第7回東日本大震災被災地応援ツアーのレポートを作成しましたが、ブリテンに掲載するには容量オーバーですのでWEBサーバーに保存しました。下記のURLをダブルクリックしてアクセスしご覧ください。併せて現地で配布された資料も多数あるのでご覧ください。

[http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/00\\_2018hukusimareport.pdf](http://www.ys-chubu.jp/main/18hukushima/00_2018hukusimareport.pdf)



遠藤恵美子



新しい年度が始まり、YMCA にも新しい仲間やメンバーが増えました。ウェルネスのスタッフは、5名の仲間が新たに加わります。マラソンや駅伝、サッカー、バスケ、卓球などのスポーツ、カンボジアなど海外に興味があったりと、それぞれに好きなものがあり、個性豊かな楽しいメンバーがおります。これからワイズのみなさんにもお世話になると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は、グランパスワイズの方も多くの行事の実行委員長を担っていただいております。YMCA のスタッフだけでなく、多くの方の知恵と発想の力を合わせて作り上げていきたいとも思っております。いつも、たくさんお世話になっておりますが、新しいスローガンのもと、ワイズの方も共に YMCA の活動を作っていくいただければと嬉しいです。今年度もよろしくお願いいたします。

## 5 月行事

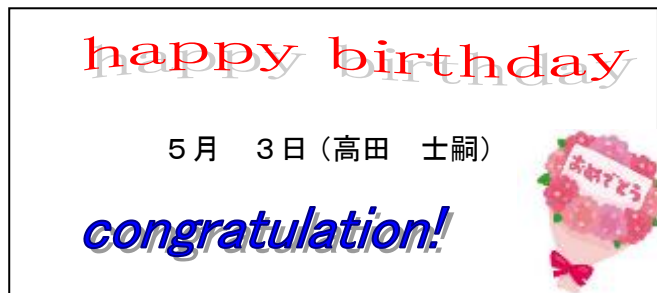
5/3～5/5 日和田リーダートレーニング

## そ の 他

## 2. 例会等出席状況

| No. | 氏 名   | 4 / 17 通常例会 | 4 / 3 特別例会 | 4 / 14 15 東北ツアー |  |
|-----|-------|-------------|------------|-----------------|--|
| 1   | 青木 哲史 |             |            |                 |  |
| 2   | 阿部 一雄 | ○           | ○          |                 |  |
| 3   | 荒川 恭次 | ○           | ○          | ○               |  |
| 4   | 遠藤恵美子 | ○           | ○          |                 |  |
| 5   | 坂口 功祐 |             |            |                 |  |
| 6   | 信田伊知郎 |             |            |                 |  |
| 7   | 下村 明子 | ○           | ○          |                 |  |
| 8   | 高田 士嗣 | ○           | ○          | ○               |  |
| 9   | 服部 庄三 | ○           | ○          |                 |  |
| 10  | 早川 政人 | ○           | ○          | ○               |  |
| 11  | 坂野 清治 | ○           | ○          |                 |  |
| 12  | 松原 誠  |             | ○          | ○               |  |
| 13  | 三井 秀和 | ○           | ○          |                 |  |
| 14  | 吉田 一誠 | ○           | ○          | ○               |  |
|     |       |             |            |                 |  |
|     | 計     | 11          | 11         | 5<br>× 9        |  |

## 1. 今月の誕生日



高速道路PAの放射線量モニター。全区間走りました



天神岬公園の放射線量値は0.149 μSv/hでした



空路は軽快なプロペラ機でした